「神の天軍首、神聖なる光栄の役者、諸天使の宰、及び人々の教導者よ、我等の為に益ある事と大なる憐とを求め給へ、爾等は無形の軍の首長なればなり。」

天軍首聖ミハイル及び
其他の無形軍の會聚祭
（小讃詞 第２調）

仙台正教会 教会だより

2026年 11月号

仙台ハリストス正教会
〒980－0021
仙台市青葉区中央三丁目四－二〇
TEL(〇二二)二二五－二七四四
FAX(〇二二)二二四－三〇八〇
http://www.sendai-orthodox.jp
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

教会では、11月21日(ユリウス暦11月8日)に、「天軍首聖ミハイル及び其他の無形軍の會聚(会衆)祭」を祝います。

この祭りは、その名の通り聖ミハイルをはじめとした全ての天軍を記憶するものですが、その数は「千千の神使首及び萬萬の神使」(聖体礼儀の祝文／ダニイル7：10)と言われるように膨大です。そしてその天軍の世界を、正教会では聖書に基づき9つの階層に分けています。それは、第一位階のセラフィム、ヘルヴィム、宝座、第二位階の主制、能力、権柄、そして第三位階の首領、天使首、天使の9階層です。

通常、正教会では聖人の記憶日はその聖人の永眠日が当てられますが、天軍は「無形」と呼ばれるように体(物質)を持たず、故に彼等は死に属しません(ルカ20：36参照)。それでは、この11月21日(11月8日)という記憶日は果たして何に由来するのでしょうか。

ローマ時代のユリウス暦では、春分の日は3月25日であり、西暦525年には、この日は新年の始まりの日となりました。この3月の「3」に天軍の階級である「9」を足すと11月の「11」となります。、また、聖師父たちは最後の審判の日を「第8日」と呼んでいましたが、「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く」(マトフェイ25：31)とあることから、そこから「8」を取って「11月8日＝11月21日」が天軍の記憶日となりました。ちなみにユリウス暦の3月25日はグレゴリオ暦に直すと4月7日、すなわち仙台教会の堂祭である「生神女福音祭」に当たります。生神女福音という出来事が神使首ガウリイルによってなされたのみならず、このように、天軍と生神女福音祭には深い関係があるのです。

さて、この「9」という数字は、死後9日目に行われる九日祭の根拠でもあります。永眠した方が「千千の神使首及び萬萬の神使」から成る天軍の9つの階層を超えて、神の子としてハリストスと共に父の右の座に着くことができるよう、私たちは祈るのです。

(司祭ルカ田畑)

仙台正教会の芋煮会

仙台教会では10月18日㈰の聖体礼儀後に芋煮会が催されました。これは信徒間の交流は元より、最近教会に通われている未信者(非正教徒)の方々との親睦を深めることを目的としたもので、46名の参加者のうち、嬉しいことに三分の一は未信者の方でした。

セラフィム府主教座下は常々、「人を招きなさい。交わりを大切にしなさい」と仰っておられます。正教を生きる喜びを多くの人と分かち合う為に、これからも「招き、交わる」ことを大切にする教会であり続けましょう。

お久しぶりの方、最近よくお見掛けする方から当日初めていらした方まで参加してくださいました。

↑終始温かな雰囲気を作ってくださった司会のニコライ本多兄。

→ドイツからいらしたヴィオラさんに、以前から練習していたドイツ語の歌「歌の翼に」を披露する聖歌隊。

東北ブロック宣教キャラバン

東北ブロックの「宣教キャラバン」が10月15日㈭に十文字正教会で行われ、仙台教会からは司祭と、東北ブロックの宣教委員であるウェラ山中姉が出席しました。

当日は午前11時より十文字教会の永眠者の為の総パニヒダを行い、パニヒダの後は、はっと汁などの昼食を頂きながら十文字教会の皆さんと交流のときを持ちました。

十字架挙栄祭

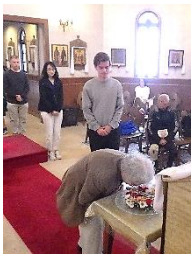
仙台教会では、9月27日㈰に十字架挙栄祭の代式祈祷、そして翌週の10月4日㈰には十字架挙栄祭後の主日聖体礼儀が行われました。

27日の代式祈祷の際にも花で飾られた十字架を聖堂中央に置き、聖歌の変更箇所は全て祭日のものを歌い、祈祷後には十字架に伏拝・接吻しました。

また、今年の十字架挙栄祭後の主日は十字架挙栄祭の末日であったため、聖体礼儀の最後には聖歌隊が十字架のトロパリを歌う中、司祭によって十字架が至聖所へと戻されました。

生神女庇護祭

10月13日㈫から14日㈬にかけて、生神女庇護祭の徹夜祷と聖体礼儀が行われました。



「信じる者になりなさい」

司祭　ルカ　田畑隆平

現代では、目に見えない、分からないものは「非現実なこと」として排除される傾向にあります。ですから信仰などというものは、「神」という非現実的なものを信じる非科学的で前時代的な世迷言だと思われがちです。しかし、神の不在を証明した人など一人もいないのですから、「神はいない」という態度が現実的なものであるかと言えば、そうとも言えません。「神はいない」と言う人は、あくまで「神はいないと『信じている』」に過ぎないのです。「分からないなら“いない”と見做した方が現実的」という訳でもありません。

また、「神は“いる”とも“いない”とも言えない」とする「中立的不可知論」と呼ばれる態度が正しいのかと言えば、これもそうとは言えません。なぜなら、神は「いる」か「いない」かのどちらかなのですから、「神はいる(いない)」なら、正解はあくまで「神はいる(いない)」しかないのであって、中立的不可知論は一見手堅いスタンスのようでいて、実は決して正解にはなれない、どっちつかずの生き方なのです。

それでは、人は神が「いる」か「いない」かのどちらかを信じて生きなければならないとすれば、なぜ神を信じることを選ぶことができるのでしょうか。よく言われるように、神を信じることは、人間が造り出した架空の存在に縋り、心の安定を得るための空しい行為に過ぎないのでしょうか。そうではないなら、神の存在を証明する何か明確な証拠でもあるのでしょうか。残念ながら、そのようなものは存在しません。しかし、疑っても疑ってもそれでもなお、神に希望を置き続けることの出来る“しるし”があります。それは、ハリストスの十字架です。

数々の奇跡を行い、ご自身を「神の子」と証しされた方が、十字架で殺されました。ハリストスは人々から嘲られ、鞭打たれ、どれほど傷付けられても無抵抗にその悪意や暴力、人間の罪を一身に受け、ご自身を亡き者にしようとする者のために赦しを祈りました。そして傷付き、血を流し、ご自身の命を人間に与え尽くして、死に至りました。たとえ私たちが何も信じられない暗闇に陥ってしまったとしても、このような方が二千年前に確かに存在したことは事実なのです。そしてこの方は、死んだ後、復活なさったと教会は伝えています。

復活など、21世紀を生きる私たちには遠い過去の作り話のように思われるかもしれません。しかしたった2千年前の出来事なのです。もしハリストスが架空の人物であるならば、その死から僅か260年ほどで、キリスト教がローマ帝国の国教になどなるでしょうか。人間はそんなに愚かではありません。彼等は伝えられたハリストスの復活を真実として受け入れ、これこそが「道・真理・生命」であると確信したのです。

疑い深い私たちにとって、ハリストスの十字架は疑いの地平の先になお輝き続ける唯一の希望です。そして十字架の先で復活の主はこのように仰っています。

「信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」(イオアン 20:27)

中新田正教会だより

中新田教会では9月26日㈯から27日㈰にかけて司祭の巡回がありました。

26日は執事長ご夫妻と司祭とで廻家祈祷に2軒訪問した後、聖堂に戻り晩課を行いました。

そして翌27日には十字架挙栄祭聖体礼儀をお祝いました。昨年に引き続き今年もアンナ渡邉姉が花で十字架を美しく飾って下さり、「命の木」である十字架に伏拝してハリストスの救いの業を讃えました。

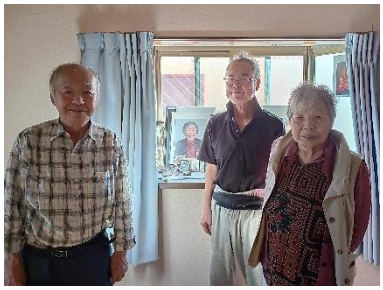
白河正教会だより

白河教会では10月2日㈮から3日㈯にかけて司祭の巡回があり、徹夜祷と聖体礼儀が行われました。

3日には聖体礼儀を終えて昼食と美味しいケーキを頂いた後、イオアン大寺執事長とマリヤ堀田姉と共にフェオドル堀田康弘兄のお宅へ廻家祈祷に伺いました。11月はステファン鈴木信一兄のお宅にお邪魔する予定です。

現在、白河教会では会館の修繕を計画しています。これは白河市を通して国土交通省より歴史的風致形成建造物の修繕に対し補助金が出されることを踏まえたものです。

白河教会は聖堂のみならず、会館も歴史あるものです。これからも永く使い続けられますように。



献金報告（9.21~10.20）

○聖堂内献金　109,982円

○パニヒダ献金

木村富喜子

平塚裕、八文字則子、大立目謙直、岡多喜子、太田悦子

笹川皓、木村良治、熊谷経光、千葉温

山田喜美雄、永元道子、大立目潤子、髙橋嘉彦、若松亮一、橘聡子

小原淑子、岡崎雄俊、飯塚順子

○聖名祭感謝献金

及川聡子、平塚裕、髙橋紀武

○敬老感謝献金

笹川純子

○感謝献金

加川雄

内海エレナ、マリヤ・テレジヤ

○会報献金

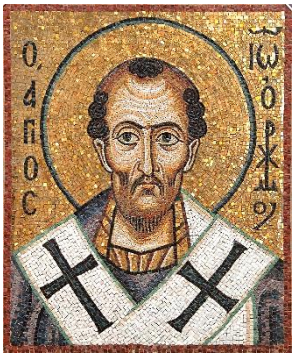
小野寺眞利

※敬称略

11月聖名祭
モレーベンのご案内

11月29日㈰聖体礼儀後

11月の聖名祭モレーベンに該当する方々です。ぜひご参祷ください。



▲聖金口イオアン

▲奇跡者廉施者
聖コスマ及びダミアン

聖名日	聖　　名	氏　　名(敬称略)
11/2	アルテミイ(アンティオキアの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イアコフ(聖使徒)	道家和夫、横山　渉、若松勝也
11/8	ディミトリイ(フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カピトリナ(聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ(ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノヴィヤ(キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン(メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡　潔、遠藤正義
11/14	キリエナ(聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ(ガリラヤの克肖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル(ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/26	イオアン(コンスタンチノープルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ(カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ(聖使徒福音者)	針生勝通、土田定克、佐々木隆

金口イオアンのトロパリとコンダク

「爾が口の恩寵は火の光の如く輝きて全地を照し、世界の為に無慾の寶を得、我等の為に謙遜の高きを顕せり、神父金口イオアンや、猶爾の言を以て訓へて、言なるハリストス神に我等の霊の救はれんことを禱り給へ」(トロパリ　第8調)

「至福にして克肖なる金口イオアンや、爾は天より神聖の恩寵を受け、爾の口を以て、衆人に三位一體の神に伏拝するを訓ふ、我等宜しきに合ひて爾を讃め揚ぐる、爾は神聖の事を顕す師なればなり」(コンダク　第6調)

執事会報告

日時：令和8年10月4日午後1時
場所：会館3階第1集会室

一、報告事項

9／6(日)　定例執事会、定例婦人会
9／10(木)　前駆授洗イオアン斬首祭徹夜祷
9／11(金)　前駆授洗イオアン斬首祭聖体礼儀
9／12(土)　アンナ櫻井姉一年祭、徹夜祷
9／13(日)　主日聖体礼儀、敬老会
9／17(木)　東北ブロック宣教委員会(一関)
9／19(土)　徹夜祷勉強会、徹夜祷
9／20(日)　主日聖体礼儀、聖名祭モレーベン、月例パニヒダ、生神女誕生祭徹夜祷
9／21(月)　生神女誕生祭聖体礼儀
9／23(水)　誦経奉仕者研修会(金成)　5名
9／24(木)　エレベーター点検
9／26(土)-27(日)　田畑中新田巡回
9／27(日)　挙栄祭代式祈祷、聖堂清掃奉仕
10／2(金)-3(土)　田畑白河巡回
10／3(土)　徹夜祷
伝道会　毎週水曜開催(9／9、9／30には午前中にも実施)
収益事業　10／6にピアノ調律(1台のみ)

二、協議事項

(1)火災保険の件
　複数の保険会社より相見積もりを取得。今までと同条件で15万円ほど安くなる見込み(あいおいニッセイ同和損保)。
(2)芋煮会の件
　参加者は30名強を想定(※結果46名)。芋煮の材料(40人前)とおにぎり(50人前)は生協で注文。参加費は参祷時に聖堂の受付で徴収。容器類は全て使い捨てを使用。主日聖体礼儀後に行うこと、これだけの人数が座れるスペースを境内に確保できないこと、また、鍋の持ち運びの便などを考慮し、屋外ではなく会館3階で行う(※想定より多くの参加申込みがあったことから4階に変更)。食材や容器類は高橋兄、飲料類は田畑が用意。調理は聖体礼儀中に教会学校と並行して行う。
(3)七五三の件
　菓子類を一人650-700円を目安に用意。アレルギーのある子ども1名あり(後に2名と判明)。
(4)敬老会振り返り
　28名出席／うち対象者16名。今後はオードブルをお店に取りに行くことはせず、配達してもらう。
(5)婦人会ツリー飾り付け実施日の件
　11／29(日)に行う。
(6)おみがき実施日の件
　11／29(日)に行う。前週の代式後の聖堂清掃は行わない。

三、その他

・11／7(土)の聖歌研修会は、11時より方舟会が会場設営をする。念のためプロジェクターも用意する。
・敬老会で配ったバッグは1個千円で頒布する。
・11／15(日)の聖体礼儀は懇親会と重なるため参祷者の減少が予想されることから、七五三のモレーベンは29日とし、聖名祭のモレーベンも同日に行う。
・笹川兄より伐採した木の処分方法について説明があった。
・災害時の募金を行うことについて提言があった。

11月の行事・奉事予定

○仙台教会

1日(日) 祭五後旬 第22主日代式祈祷(10時半)
ガラティヤ215端6:11-18
ルカ35端8:5-15
第5調

7日(土) 聖歌研修会(13時)

8日(日) 祭五後旬 第23主日聖体礼儀(10時)
エフェス220端2:4-10
ルカ83端16:19-3
主日徹夜祷(17時) 第6調
■月例パニヒダ

14日(土) 主日徹夜祷(17時) 第7調
15日(日) 祭五後旬 第24主日聖体礼儀(10時)
エフェス221端2:14-22
ルカ38端8:26-39
○定例執事会

21日(土) 徹夜祷はありません 第8調
22日(日) 祭五後旬 第25主日代式祈祷(10時半)
エフェス224端4:1-6
ルカ39端8:41-56

23日(月)(祝) 方舟会ツリー飾り付け(10時)
方舟会総会(昼食後)

28日(土) 主日徹夜祷(17時) 第1調
29日(日) 祭五後旬 第26主日聖体礼儀(10時)
エフェス229端5:8-19
ルカ53端10:25-37
◎聖名祭モレーベン
★七五三モレーベン

降誕祭前の「おみがき」
ご奉仕をよろしくお願いします！

○白河教会

1日(日) 祭五後旬 第22主日聖体礼儀(10時)
3日(火) 一般公開／講演会
15日(日) 祭五後旬 第24主日代式祈祷(10時)

○中新田教会

8日(日) 祭五後旬 第23主日代式祈祷(10時)
奉仕作業
21日(土) 聖歌練習(16時)
スボタ大晩課(17時)
22日(日) 祭五後旬 第25主日聖体礼儀(10時)
月例パニヒダ、七五三モレーベン

○教団・教区・ブロック

7日(土) 聖歌研修会(仙台)(13時)
15日(日)-16日(月) 信徒懇親会(一関)

七五三感謝祈祷

仙台教会では、子供たちの健やかな成長を願い、以下の日程にて七五三の感謝祈祷を行います。七五三とは言え、七歳、五歳、三歳に限らず、小学生以下の全てのお子さんが対象です。子どもたちへのプレゼントも用意しておりますので、ぜひ教会へお越しください！

日時:11月29日(日) 聖体礼儀後

今月の予定

【聖歌研修会】7日(土)
【信徒懇親会】15日(日)-16日(月)
【方舟会】
・総会、ツリー飾り付け　23日(月)(祝)
【七五三モレーベン】29日(日)
【おみがき】29日(日)　聖体礼儀後
【聖歌隊】
(練習)8、15、22日(日)　(発声)1日(日)
【伝道会】
・毎週水曜日18時半より
・場所　会館3階　第1集会室

※会報に掲載の写真でご希望のものがあればプリントしますので遠慮なくお申し出ください。